

事業主の皆さまへ

# 「発達障害者・難治性疾患患者 雇用開発助成金」のご案内

この助成金は、障害者手帳を持たない発達障害や、難病のある人を雇い入れる事業主を支援し、発達障害や難病のある人の雇用と職場定着を促進するためのものです。

## 発達障害や難病の人を新たに雇い入れた事業主に助成金を支給します

以下の①～③のすべてに当てはまる人をハローワークまたは民間の職業紹介事業者などの紹介により常用労働者として新たに雇用する事業主に助成金を支給します。

- ① 障害者手帳を所持していない
- ② 発達障害または難病がある

▶ 発達障害の場合

発達障害者支援法第2条に規定する発達障害者  
(自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など  
発達障害のある方)

▶ 難病の場合：別紙の難病がある方

- ③ 週所定労働時間が20時間以上である

- ◆ 雇い入れた労働者に対する配慮事項などを支給申請にあわせて報告していただきます。
- ◆ 対象となる事業主の要件は、裏面をご覧ください。
- ◆ 雇入れから約6か月後にハローワーク職員が職場訪問を行います。

## ＜支給額＞ ～対象期間を6カ月ごとに区分し、一定額を支給します～

対象労働者	企業規模	支給対象期間	支給額				支給総額
			第1期	第2期	第3期	第4期	
短時間労働者 以外の労働者	大企業	1年	25万円	25万円			50万円
	中小企業	2年	30万円	30万円	30万円	30万円	120万円
短時間労働者	大企業	1年	15万円	15万円			30万円
	中小企業	2年	20万円	20万円	20万円	20万円	80万円

詳しくは、都道府県労働局またはハローワークにお尋ねください。



## <対象となる事業主の要件> 次のすべてに該当する事業主が助成金を受給できます

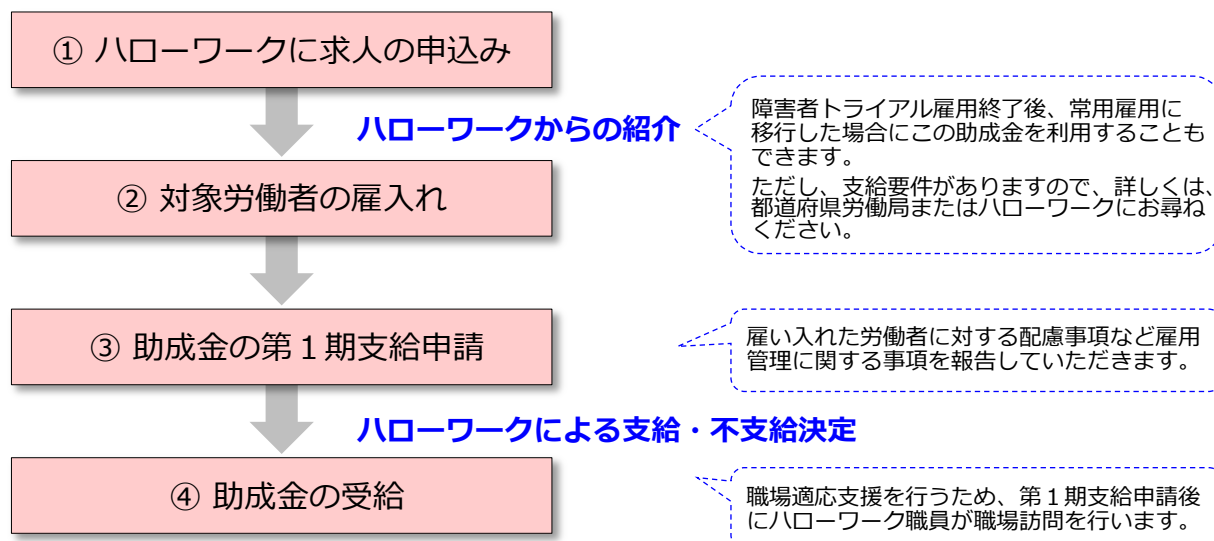
- ◆雇用保険の適用事業主であること
- ◆対象労働者（雇入れ日時点で満年齢が65歳未満の人に限り）をハローワークなどの紹介によって雇用保険の一般被保険者として継続雇用することが確実であると認められること
- ◆対象労働者の雇用管理に関する事項を管轄労働局長に報告すること
- ◆対象労働者の雇入れ日の前後6カ月間に、事業主の都合による従業員の解雇（勸奨退職を含む）をしていないこと
- ◆対象労働者の雇入れ日の前後6カ月間に、倒産や解雇など、特定受給資格者となる離職理由で離職した被保険者数が、対象労働者の雇入れ日における被保険者数の6%を超えていないこと（特定受給資格者となる離職者が3人以下の場合を除く）
- ◆対象労働者の出勤状況や賃金の支払い状況などを明らかにする書類を整備・保管していること（労働者名簿、賃金台帳、出勤簿など）

### <上記に該当する事業主であっても、以下に該当する場合は助成金が支給されません>

詳しくは事業所を管轄する都道府県労働局またはハローワークへお問い合わせください

- ・ハローワークの紹介以前に雇用の内定があった対象労働者を雇い入れる場合
- ・対象労働者がハローワークの紹介時点で雇用保険の被保険者であるなど失業などの状態にない場合
- ・雇入れ日の前日から過去3年間に、職場適応訓練（短期の職場適応訓練を除く）を受けた事のある人をこの職場適応訓練を行った事業主が雇い入れる場合
- ・雇入れ日の前日から過去3年間に、この雇入れをする事業所と雇用、請負、委任の関係にあった人、または出向、派遣、請負、委任の関係によってこの雇入れをする事業所で就労したことのある人を雇い入れる場合
- ・雇入れ日の前日から過去3年間に、この雇入れをする事業所で、通算して3カ月を超えて訓練・実習などを受講などしたことがある人を雇い入れる場合
- ・雇入れ日の前日から過去1年間に、対象労働者と雇用、請負、委任の関係にあった事業主、出向・派遣・請負・委任の関係によって、対象労働者を事業所で就労させたことがある事業主、対象労働者が通算して3カ月を超えて受講などしたことがある訓練・実習などを行っていた事業主と、資本的・経済的・組織的関連性などからみて密接な関係にある事業主がこの対象労働者を雇い入れる場合
- ・対象労働者が、雇入れをする事業所の事業主または取締役の3親等内の親族（配偶者、3親等以内の血族と姻族）である場合
- ・支給対象期での対象労働者の労働に対する賃金を、支払期日を超えて支払っていない場合
- ・ハローワークなどの紹介時点と異なる条件で雇入れられた場合で、対象労働者に対し労働条件に関する不利益、または違法行為があり、かつこの対象労働者から求人条件が異なることについての申し出があった場合
- ・高年齢者雇用確保措置を講じていないことによって、高年齢者などの雇用の安定などに関する法律に基づく勧告を受けた場合

## 雇入れから支給申請までの流れ



※ 第2期、第3期、第4期の支給申請は、③→④の流れになります。

発達障害者・難治性疾患患者雇用開発助成金対象疾患一覧 1 (別紙)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカディ症候群	61	完全大血管転位症	121	ゴナドトロピン分泌亢進症
2	アイザックス症候群	62	眼皮皸皮症	122	5p欠失症候群
3	I g A腎症	63	偽性副甲状腺機能低下症	123	コフィン・シリズ症候群
4	I g G 4 関連疾患	64	ギャロウェイ・モフト症候群	124	コフィン・ローリー症候群
5	亜急性硬化性全脳炎	65	急性壊死性脳症	125	混合性結合組織病
6	アジソン病	66	急性網膜壊死	126	鰓耳腎症候群
7	アッシャー症候群	67	球脊髄性筋萎縮症	127	再生不良性貧血
8	アトピー性脊髄炎	68	急速進行性糸球体腎炎	128	サイトメガロウィルス角膜炎
9	アペール症候群	69	強直性脊椎炎	129	再発性多発軟骨炎
10	アミロイドーシス	70	強皮症	130	左心低形成症候群
11	アラジール症候群	71	巨細胞性動脈炎	131	サルコイドーシス
12	有馬症候群	72	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	132	三尖弁閉鎖症
13	アルポート症候群	73	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	133	CFC症候群
14	アレキサンダー病	74	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	134	シェーグレン症候群
15	アンジェルマン症候群	75	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	135	色素性乾皮症
16	アントレー・ピクスラー症候群	76	筋萎縮性側索硬化症	136	自己貪食空胞性ミオパチー
17	イソ吉草酸血症	77	筋型糖尿病	137	自己免疫性肝炎
18	一次性ネフローゼ症候群	78	筋ジストロフィー	138	自己免疫性出血病XIII
19	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	79	クッシング病	139	自己免疫性溶血性貧血
20	1 p 36欠失症候群	80	クリオピリン関連周期熱症候群	140	シトステロール血症
21	遺伝性ジストニア	81	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	141	紫斑病性腎炎
22	遺伝性周期性四肢麻痺	82	クルーゾン症候群	142	脂肪萎縮症
23	遺伝性腭炎	83	グルコーストランスポーター1欠損症	143	若年性肺気腫
24	遺伝性鉄芽球性貧血	84	グルタル酸血症1型	144	シャルコー・マリー・トゥース病
25	VATER症候群	85	グルタル酸血症2型	145	重症筋無力症
26	ウィーバー症候群	86	クロウ・深癩症候群	146	修正大血管転位症
27	ウィリアムズ症候群	87	クローン病	147	シュワルツ・ヤンベル症候群
28	ウィルソン病	88	クロンカイト・カナダ症候群	148	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
29	ウエスト症候群	89	痙攣重積型(二相性)急性脳症	149	神経細胞移動異常症
30	ウェルナー症候群	90	結節性硬化症	150	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
31	ウォルフラム症候群	91	結節性多発動脈炎	151	神経線維腫症
32	ウルリッヒ病	92	血栓性血小板減少性紫斑病	152	神経フェリチン症
33	HTLV-1 関連脊髄症	93	限局性皮質異形成	153	神経有棘赤血球症
34	A T R - X 症候群	94	原発性局所多汗症	154	進行性核上性麻痺
35	A D H 分泌異常症	95	原発性硬化性胆管炎	155	進行性骨化性線維異形成症
36	エーラス・ダンロス症候群	96	原発性高脂血症	156	進行性多巣性白質脳症
37	エプスタイン症候群	97	原発性側索硬化症	157	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
38	エプスタイン病	98	原発性胆汁性肝硬変	158	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
39	エマヌエル症候群	99	原発性免疫不全症候群	159	スタージ・ウェーバー症候群
40	遠位型ミオパチー	100	顕微鏡の大腸炎	160	スティーヴンス・ジョンソン症候群
41	円錐角膜炎	101	顕微鏡的多発血管炎	161	スミス・マギニス症候群
42	黄色靭帯骨化症	102	高 I g D 症候群	162	スモン
43	黄斑ジストロフィー	103	好酸球性消化管疾患	163	脆弱X症候群
44	大田原症候群	104	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	164	脆弱X症候群関連疾患
45	オクシタル・ホーン症候群	105	好酸球性副鼻腔炎	165	正常圧水頭症
46	オスラー病	106	抗糸球体基底膜腎炎	166	成人スチル病
47	カーニー複合	107	後縦靭帯骨化症	167	成長ホルモン分泌亢進症
48	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	108	甲状腺ホルモン不応症	168	脊髄空洞症
49	潰瘍性大腸炎	109	拘束型心筋症	169	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)
50	下垂体前葉機能低下症	110	高チロシン血症1型	170	脊髄髄膜瘤
51	家族性地中海熱	111	高チロシン血症2型	171	脊髄性筋萎縮症
52	家族性良性慢性天疱瘡	112	高チロシン血症3型	172	全身型若年性特発性関節炎
53	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	113	後天性赤芽球癆	173	全身性エリテマトーデス
54	歌舞伎症候群	114	広範脊柱管狭窄症	174	先天性横隔膜ヘルニア
55	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	115	抗リン脂質抗体症候群	175	先天性核上性球麻痺
56	加齢黄斑変性	116	コケイン症候群	176	先天性魚鱗癬
57	肝型糖原病	117	コストロ症候群	177	先天性筋無力症候群
58	間質性膀胱炎(ハンナ型)	118	骨形成不全症	178	先天性腎性尿崩症
59	環状20番染色体症候群	119	骨髄異形成症候群	179	先天性赤血球形成異常性貧血
60	関節リウマチ	120	骨髄繊維症	180	先天性大脳白質形成不全症

# 発達障害者・難治性疾患患者雇用開発助成金対象疾患一覧 2 (別紙)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
181	先天性風疹症候群	233	22q11.2欠失症候群	285	ペルーシド角膜辺縁変性症
182	先天性副腎低形成症	234	乳幼児肝巨大血管腫	286	ペルオキシソーム病 (副腎白質ジストロフィーを除く)
183	先天性副腎皮質酵素欠損症	235	尿素サイクル異常症	287	片側巨脳症
184	先天性ミオパチー	236	ヌーナン症候群	288	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
185	先天性無痛無汗症	237	脳髄黄色腫症	289	発作性夜間ヘモグロビン尿症
186	先天性葉酸吸収不全	238	脳表ヘモジデリン沈着症	290	ポルフィリン症
187	前頭側頭葉変性症	239	膿疱性乾癬	291	マリネスコ・シェーグレン症候群
188	早期ミオクローニー脳症	240	嚢胞性繊維症	292	マルファン症候群
189	総動脈幹遺残症	241	パーキンソン病	293	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 /多巣性運動ニューロパチー
190	総排泄腔遺残	242	バージャー病	294	慢性血栓性肺動脈高血圧症
191	総排泄腔外反症	243	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	295	慢性再発性多発性骨髄炎
192	ソトス症候群	244	肺動脈性肺高血圧症	296	慢性膀胱炎
193	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	245	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	297	慢性特発性偽性腸閉塞症
194	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	246	肺泡低換気症候群	298	ミオクローニー欠伸てんかん
195	大脳皮質基底核変性症	247	バッド・キアリ症候群	299	ミオクローニー脱力発作を伴うてんかん
196	ダウン症候群	248	ハンチントン病	300	ミトコンドリア病
197	高安動脈炎	249	汎発性特発性骨増殖症	301	無脾症候群
198	多系統萎縮症	250	P C D H19関連症候群	302	無βリポタンパク血症
199	タナトフォリック骨異形成症	251	肥厚性皮膚骨膜炎	303	メーブルシロップ尿症
200	多発血管炎性肉芽腫症	252	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	304	メチルマロン酸血症
201	多発性硬化症/視神経脊髄炎	253	皮質下梗塞と白質脳症を伴う 常染色体優性脳動脈症	305	メビウス症候群
202	多発性嚢胞腎	254	肥大型心筋症	306	メンケス病
203	多脾症候群	255	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	307	網膜色素変性症
204	タンジール病	256	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	308	もやもや病
205	単心室症	257	ビッカースタッフ脳幹脳炎	309	モワット・ウイルソン症候群
206	弾性線維性仮性黄色腫	258	非典型溶血性尿毒症症候群	310	薬剤性過敏症症候群
207	短腸症候群	259	非特異性多発性小腸潰瘍症	311	ヤング・シンブソン症候群
208	胆道閉鎖症	260	皮膚筋炎/多発性筋炎	312	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴
209	遅発性内リンパ水腫	261	びまん性汎細気管支炎	313	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
210	チャージ症候群	262	肥満低換気症候群	314	4p欠失症候群
211	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	263	表皮水疱症	315	ライソゾーム病
212	中毒性表皮壊死症	264	ヒルシუსブルング病(全結腸型又は小腸型)	316	ラスマッセン脳炎
213	腸管神経節細胞減少症	265	ファイファー症候群	317	ランゲルハンス細胞組織球症
214	TSH分泌亢進症	266	ファロー四徴症	318	ランドウ・クレフナー症候群
215	TNF受容体関連周期性症候群	267	ファンconi貧血	319	リジン尿性蛋白不耐症
216	低ホスファターゼ症	268	封入体筋炎	320	両側性小耳症・外耳道閉鎖症
217	天疱瘡	269	フェニルケトン尿症	321	両大血管右室起始症
218	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	270	複合カルボキシラーゼ欠損症	322	リンパ管腫症/ゴーハム病
219	特発性拡張型心筋症	271	副甲状腺機能低下症	323	リンパ管筋腫症
220	特発性間質性肺炎	272	副腎白質ジストロフィー	324	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)
221	特発性基底核石灰化症	273	副腎皮質刺激ホルモン不応症	325	ルビンシュタイン・テイビ症候群
222	特発性血小板減少性紫斑病	274	ブラウ症候群	326	レーベル遺伝性視神経症
223	特発性後天性全身性無汗症	275	プラダー・ウィリ症候群	327	レシチンコレステロールアシルトランス フェラーゼ欠損症
224	特発性大腿骨頭壊死症	276	プリオン病	328	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
225	特発性門脈圧亢進症	277	プロピオン酸血症	329	レット症候群
226	特発性両側性感音難聴	278	PRL分泌亢進症(高プロラクチン血症)	330	レノックス・ガストー症候群
227	突発性難聴	279	閉塞性細気管支炎	331	ロスモンド・トムソン症候群
228	ドラベ症候群	280	ベーチェット病	332	肋骨異常を伴う先天性側弯症
229	中條・西村症候群	281	ベスレムミオパチー		
230	那須・ハコラ病	282	ヘパリン起因性血小板減少症		
231	軟骨無形成症	283	ヘモクロマトーシス		
232	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	284	ペリー症候群		

※ 身体障害者、知的障害者、精神障害者に該当される方については、特定求職者雇用開発助成金の対象となりますので、ご注意ください。詳しくは、都道府県労働局又はハローワークへお問い合わせください。